

参加校

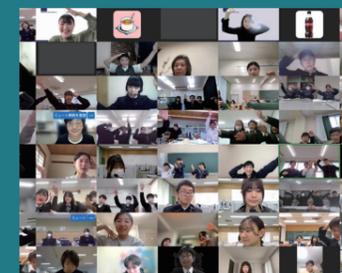
- |      |  |
|------|--|
| 山形県  | 山形県立東桜学館中学校  |
| 茨城県  | 東洋大学附属牛久中学校<br>茨城県立勝田中等教育学校<br>茨城県立太田第一高等学校附属中学校   |
| 栃木県  | 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校  |
| 埼玉県  | さいたま市立浦和中学校  |
| 千葉県  | 渋谷教育学園幕張中学校  |
| 東京都  | 品川女子学院中等部<br>東京都立富士中学校<br>明治大学付属明治中学校<br>獨協中学高等学校<br>渋谷教育学園渋谷中学高等学校<br>東京都立小石川中等教育学校<br>創価中学校<br>筑波大学附属駒場中学校<br>目黒区立目黒西中学校 |
| 神奈川県 | 栄光学園中学校<br>聖光学院中学校<br>洗足学園中学高等学校<br>湘南白百合学園中学校   |
| 長野県  | 長野県屋代高等学校附属中学校   |
| 愛知県  | 南山高等学校中学校女子部   |
| 兵庫県  | 神戸大学附属中等教育学校<br>灘中学校   |
| 広島県  | 福山暁の星女子中学校   |
| 徳島県  | 徳島県立城ノ内中等教育学校  |
| 熊本県  | 熊本県立八代中学校  |

27校

PDA

# 第9回PDA 中学生即興型 英語ディベート 全国大会

The 9th PDA  
Junior High School Parliamentary Debate  
National Competition



【主催】一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)  
【共催】大阪公立大学  
【後援】朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、JSPS San Francisco Office  
【協賛】一般社団法人 国際教育英語試験協会(GEET)、公益財団法人 Tazaki財団  
【助成】公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団、一般財団法人 三菱みらい育成財団



---

## 趣旨

---

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の中学生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

参照:文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>

---

## スケジュール

---

日程 2026年3月14日(土)

- 09:30 受付
- 09:50 開会式
- 10:20 ラウンド1
- 11:20 昼食交流会(11:30 ~ 12:00)
- 12:10 ラウンド2
- 13:20 ラウンド3
- 14:30 決勝進出チーム発表、決勝準備
- 14:35 キーノート
- 14:50 決勝
- 15:20 表彰式、アンケート
- 15:40 終了

---

## ご挨拶

---

第9回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会へのご参加をありがとうございます。高等学校の新学習指導要領では、2022年度から英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、活動としてディベートが明記されています。本大会で取り扱うディベートは、授業の50分で完結する形式であり、中学生にとって近い将来役立つ内容です。英語で発信する力のほか、様々な論題について多様な視点から考える力を鍛える一助となることを願っています。キーノートレクチャーもお楽しみください。最後に、PDAではAIディベートシステム、ディベートワークを用意しています。大会に向けた練習や復習のお役に立てましたらと思います。



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)代表理事  
中川智皓(大阪公立大学工学研究科・准教授)  
内閣府 上席科学技術政策フェロー  
東京大学生産技術研究所 リサーチフェロー

---

## キーノートスピーカーからのメッセージ

---

私の専門はゲーム理論です。ゲーム機でするものではなくて、数学の一分野です。プレイヤーと呼ばれる登場人物たちがそれぞれの目的に向かって行動して、影響しあっていくと何が起きるのかを研究しています。ディベートにも似ていますし、社会もそうになっていますね。ゲーム理論には世界の全ての人が入っていて、ぶつかる時もあるかも知れないけれど、やり方を工夫して、皆がよい方向に行けないかを考えます。生物も粒子もゲームをしているかもしれません。皆さんがディベートというゲームをしている様子を見て私も勉強させていただきます。



慶應義塾大学経済学部・教授  
Path to Science for Girls 副代表  
グレーヴァ 香子 氏